

地方創生臨時交付金配布による補正予算案の審議



この補正予算案には「子育て世帯生活支援特別給付金給付事業」「住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業」「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援事業」等、市民生活に密着した事業予算が多く盛り込まれています。

ロシアによるウクライナ侵攻は未だ衰えることなく続いています。ウクライナでは水道施設の機能が停止する恐れがあり、水の供給を確保するために、横浜市は姉妹都市であるオデーサ市に移動式浄水装置を供与しており、6月補正予算で、国制度に基づく生活困窮者への支援を実施するとともに、原油価格・物価高騰を踏まえた経済支援の実施や、ウクライナ支援にかかる事業費を補正しました。

7月1日より徐々に値上げの品目が増え、今後さらなる原油価格・物価高騰が家計を圧迫する見通しです。経済支援の実施として、市民や事業者を支援するため、レシートを活用した市民・事業者支援事業(通称:レシ活VALUE)が実施されることとなりました。是非ご活用下さい。

中学校給食実施に向けて

6/21から7/1まで市内の生徒と保護者を対象に中学校給食の在り方についてアンケート調査を行いました。実現に向け、市民の皆さまのご要望に添えるよう進めてまいります。

中学校給食全校実施には様々な問題があります。学校敷地内に給食室を作る場所がない場合、給食室の扱いが「工場」となり用途地域の整理等、検討しなければなりません。

なお、山中竹春市長は燃油高などに伴い食材価格が高騰しても、増額分の負担を保護者に求めないとの考えを示されています。



栄区の児童数は増えています



自然減が続いている横浜市の人口ですが、、なんと!!!
栄区は市内18区で唯一就学前児童数が前年度より増えています。

リモート化が進んでいるこの時代、住環境の良い栄区に多くの方が移住してくれるよう積極的にPRしていきます!

今年度は、地域の集いや、お祭り等、開催を予定している団体も多いとのこと。政府もマスクを外すことを推奨し始めていますが、引き続き感染予防に十分留意しつつ、地域に活気を取り戻したいですね!!

もしも手帳

横浜市は、市民の方への啓発ツールとして「医療・ケアについてのもしも手帳」を作成いたしました。市役所や区役所で入手できます。もしも手帳とは、もしもの時のことを考えて、医療やケアについて、ご自身の考えを残しておくため、ご本人の考えをご家族や信頼のおける方、医療・介護従事者などに伝える際の手助けとなることを目的としています。

もしも手帳は、見開きで薄持ち運びやすいサイズとなっていますので、お薬手帳などと一緒にしておくのもよいかもしれません。

大切な人を思えば、大切な人を思うからこそ、「もしも」の時に備えて、しっかりと意思表示と意思を伝えておいたほうがよいと思います。



長谷川えつこ政務活動事務所

☎ 247-0009

横浜市栄区鍛冶ヶ谷2丁目1-2 セントレージヒル101

e-mail : e-hasegawa@e-linksvc.com

皆さまの市政に対するご意見・ご要望を、下記連絡先までお気軽にお聞かせください。お待ちしております。

TEL : 045-390-0601 FAX : 045-392-5411

オフィシャルサイト : <https://e-linksvc.com/etsuko.hasegawa/>